



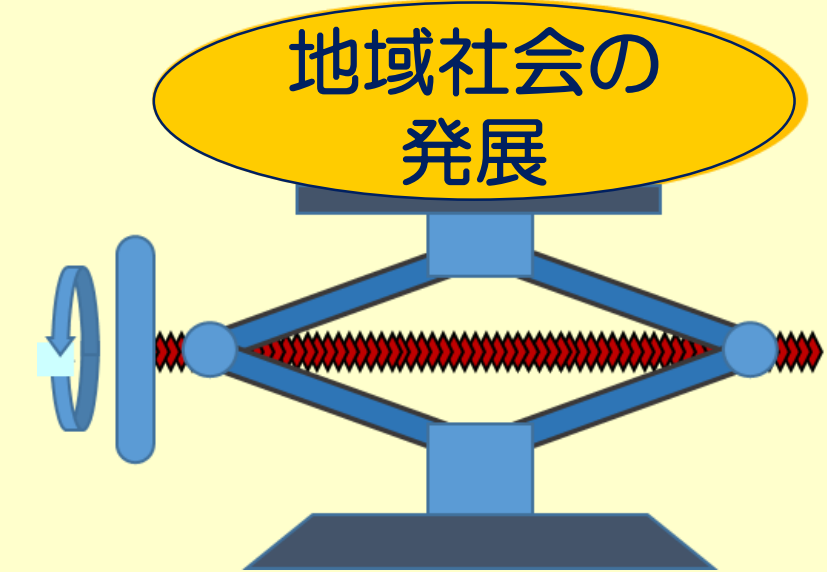
「共用設備のデータベース化による設備有効利用システムの構築」

[I] 本学の整備事業の概要

【目的】全学的な設備マネジメント機能を強化することにより、地域ニーズに応える研究推進及び人材育成ならびに産学官にわたる設備サポートを実施し、地域社会の発展に寄与する。

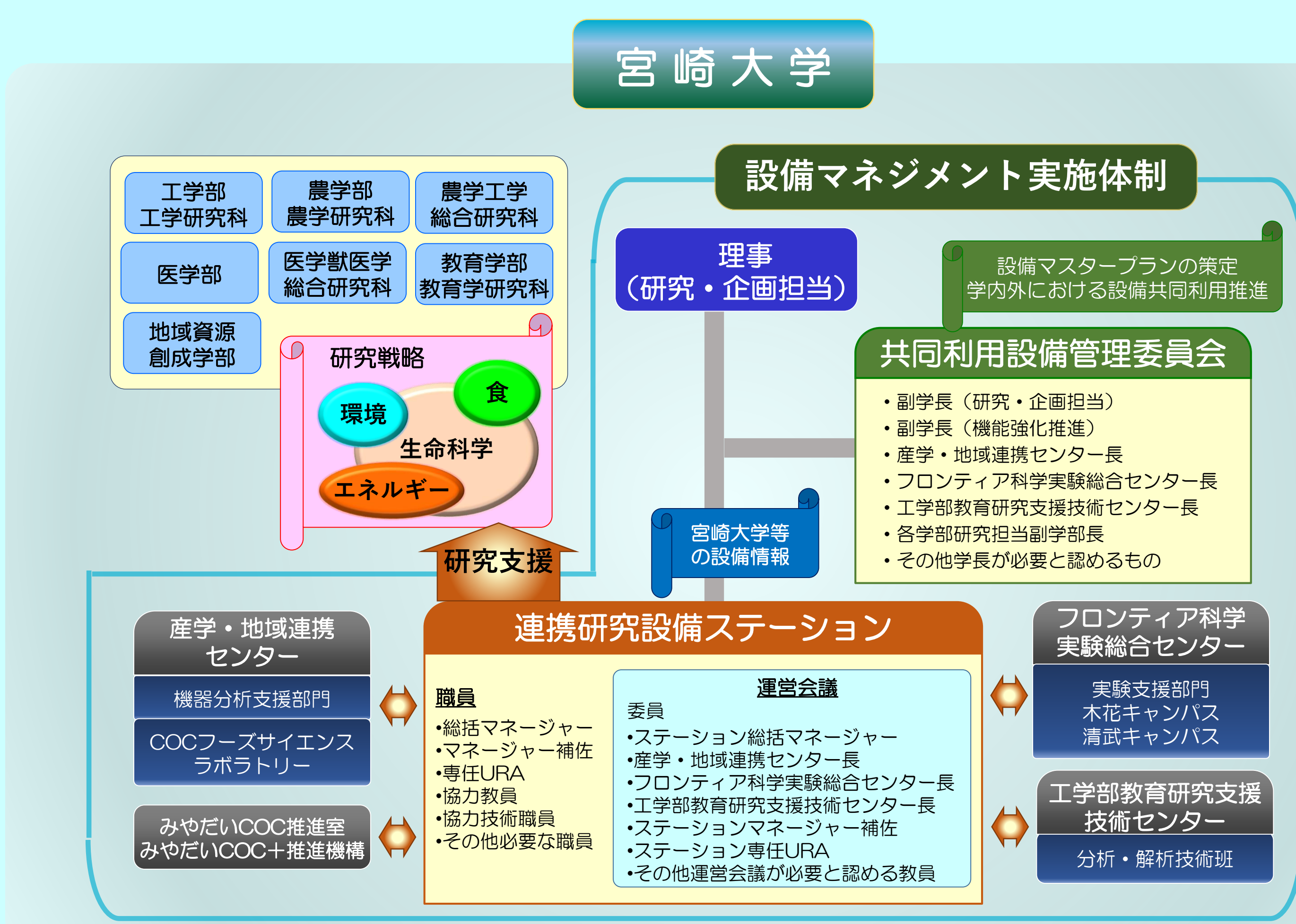
- 設備マネジメント機能の強化
- ・ 学内共同利用設備の一元管理
 - ・ マネジメント・技術スタッフの配置・育成
 - ・ ガイドラインの策定
 - ・ 利用環境の整備
- 学外機関とのサポート体制構築
設備共同利用推進

地域ニーズに応える研究推進
地域ニーズに応える人材育成
産学官にわたる設備サポート



URL: <http://miyazaki-u.ac.jp/crcweb/fsc-uom>

[II] 本整備事業の組織体制、推進体制



- 県全体で連携し効率的に設備を活用して課題解決!
- 共同研究の創出
- 知的財産の創出
- 設備サポート

みやざきファシリティネットワーク



宮崎大学の実施体制

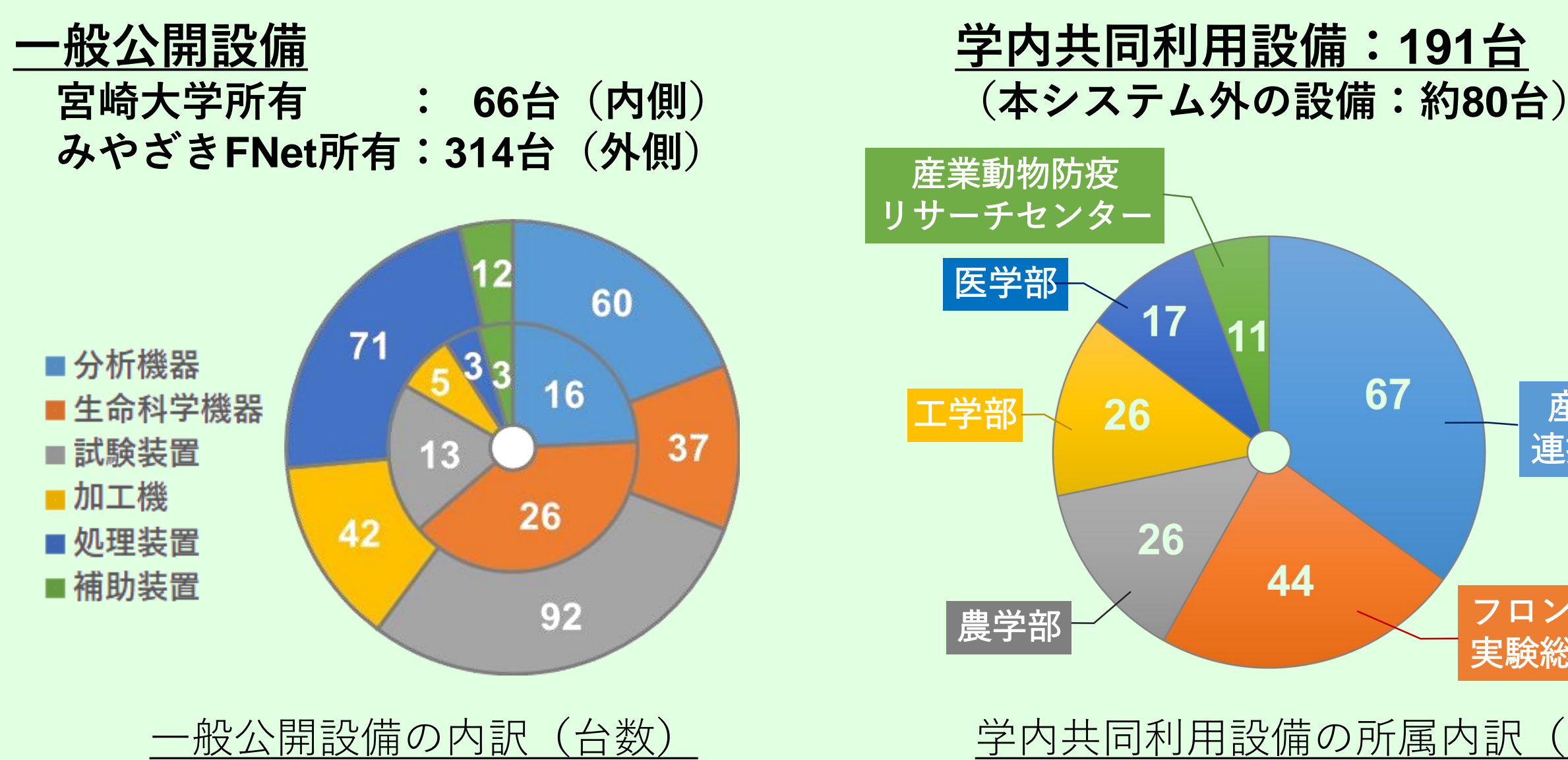
理事(研究・企画担当)の下、連携研究設備ステーションを中心に設備サポートセンター整備事業を推進し、全学における設備の共同利用促進、効果的かつ効率的な設備の配置を図るために、「設備マネジメント機能の強化」を進める。

みやざき Fnet

宮崎県内の高等教育機関、地方公共団体、公設試験研究機関及び関連機関が連携し、設備の共同利用や情報共有による研究基盤強化並びに設備利用技術の継承・高度化に向けた人材育成に取り組む。

[III] 取組事例の紹介: 共用設備のデータベース化による設備有効利用システムの構築

共同利用可能設備のデータベース化

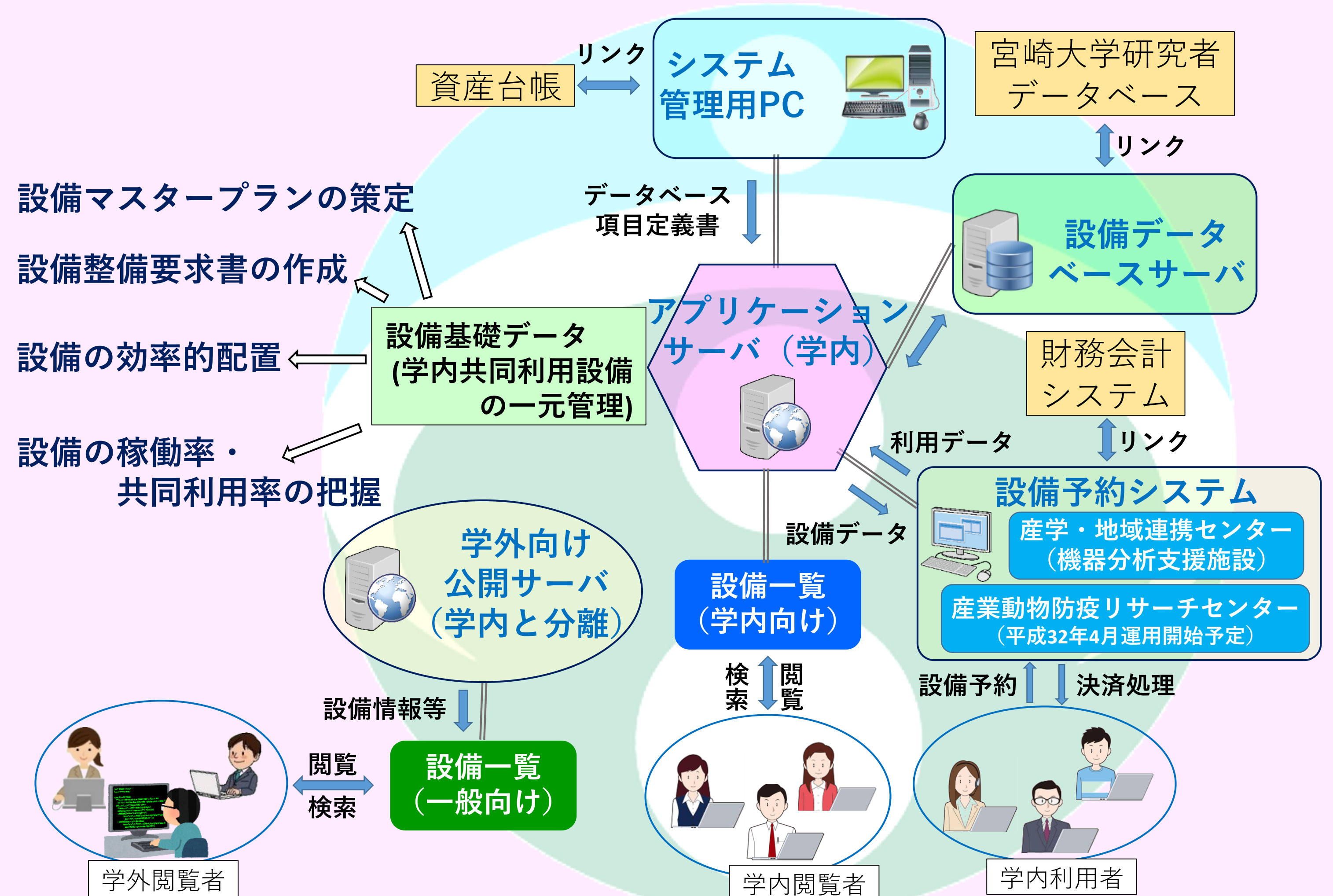


- ・ 資産情報
- ・ 設備情報
- ・ 利用情報
- ・ 稼働情報

設備情報データベースシステム

(平成30年11月、稼働開始)

- ・ 設備データベース管理システム
- ・ 設備情報閲覧検索システム
- ・ 設備予約管理システム



[IV] その他の活動事例

- 技術研修経費補助事業**
 - ① 装置メーカー等が開催する技術研修等への参加経費を補助
 - ・ 実績: 8件、延8名実施
- 設備リユースおよび共同利用の推進に係る費用支援事業**
 - ① 部局等で不要あるいは故障等で不動となった設備のリユースに必要な修理費等の支援
 - ・ 実績: 6件
- 地域志向教育研究に資する設備利用技術支援と教育**
 - ① 地域の学童向けに、分析機器を利用した科学実験
 - ② COC+事業向けに、機器分析の紹介
- 県内に雇用されている設備利用技術者の相互研修受入**
 - ① みやざきFnetとの連携による技術者教育
 - ・ 随時実施中

[V] 今後の展開: 期待される成果

- 実験・研究支援の効率化**
 - ① 宮崎県独自の共同研究、知的財産権数の増加
 - ② 留学生増加に伴う英語環境の整備
 - ③ 海外協定校との国際共同研究の推進
 - ④ 地域で培った課題解決スキルの国際展開
- COC+事業 (地方創生推進)**
 - ① 地域志向型研究に対する設備利用者支援
 - ② 産業人材教育と県内就職支援
- 社会人まなびなおし**
 - ① 県内に雇用されている技術スタッフの研修相互受け入れ
 - ② 設備利用に関する公開講座